



MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

国際交流員の業務の一環として、前橋市からの情報を英語に訳し、まえばしCITYエフエムで翌月ラジオやアプリ (ListenRadio) にて放送される録音の収録をします。ラジオ収録はこれまで4回していますが、毎回多言語版前橋市洪水・土砂災害ハザードマップの作成に関する情報が原稿に含まれていることに最近気が付きました。ある出来事をきっかけに、このハザードマップの作成目的を本当の意味で理解することができました。



11月5日、私は防災訓練に参加しました。マイナンバーカードによるチェックイン手続きの練習をしたり、災害発生時に使われるダンボールベッドを直接触ったりして、災害が起きた時の様子を想像しながら訓練に取り組みました。それから、文化国際課の職員による防災についてのプレゼンテーションを聞きました。その時、ずっと情報発信してきたハザードマップと初めて向き合いました。自分の家に近い避難所がどこにあるか、また、土砂災害や洪水の危険性が高い地域がどこにあるかがわかるマップです。前橋市ホームページで日本語版だけではなく、英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・ポルトガル語の5つの外国語版もご覧いただけます。前の私のように、災害時にどこに逃げればいいのかわからない、という人はたくさんいると思うので、ぜひチェックしてみてください。簡潔に言うと、自分の身を守るための下調べや事前準備などを心がけようと思わせてくれるようなイベントでした。今後も一般市民向けの防災訓練が定期的に行われることを期待したいと思います。

